

生き方の素敵なあの人、今、注目のこの人に
“節度ある好奇心”をもって徹底インタビュー

根ほい 葉ほい



習志野ソーセージアンバサダー、モデル ラジオ生放送番組プレゼンターとして活躍

フルート奏者 林 愛実さん

この道に入ったきっかけは？

小学生の時に病気をし、長期入院が決まりました。習志野市の小学校から千葉市の病院内の養護学校に転校となったのですが、そこでリコーダーを学んだり、音楽で遊んでいたりが過ごしたことが今の道に進むきっかけとなっています。

元々母がピアノを少し弾けたので、幼い頃から頃から音楽に関心もありました。おもちゃ替わりに楽器を触って、演奏は楽しいし、うまく弾けたり吹けたりすると褒めてもらえるので自分を認めてあげられる、自信に繋がっていました。

その時からすでに音楽家になると決めていましたので、体の具合が良くなるとすぐにレッスンをしてくださる先生を探しましたが、リコーダーの先生

はなかなか見つからず、フルートなら！ということで習い始めました。

辛いと思った時は

大変な事ばかりですが、一番は体調管理です。無理をした時に、無理をしないように心がけるのはなかなか至難の技で・・・

心と身体バランスをいかに保つかというのが意外にも大変で、ギリギリのラインを攻めながら練習したりステージに上がったたりしています。それでも体調が悪くなると後悔の念に苛まれて辛いですね(笑)

体調を壊すと自分にも周りにも迷惑がかかるので、体調管理とメンタルヘルスは仕事のひとつとして心がけています。あとは食あたりにならないように、どんなに美味しそうでもステージ前日に生

物は食べないようにしています。お魚大
国の千葉県民には辛い事です(笑)

嬉しいときはどんなとき？

ステージからお客様やスタッフの皆さんの笑顔を見た時が一番幸せです。感動したという声も、また聴きたい、また観たいという声もすべて私の養分になっています！

常々関わってくださっている方や応援してくださっている方には感謝していますが、それと同時にどう恩返しできるか、それは私がどう成長できるかにかかっている、と自分を奮い立たせる原動力にもなっています。

これまでの活動とこれから

音大を卒業してから、数々のステージに出演させていただきました。またミスコンテストへ出場したり、モデルの活動や子どものための体験教室の活動も積極的に行っています。ホテルのアンバサダーや習志野ソーセージのアンバサダーを務める他に、ラジオの生

放送番組のプレゼンターもしています。

キャッチコピーが混雑していると言われますが(笑)興味を持った事、私にできることがあればいくつになっても果敢にチャレンジしていきます。

ですがあくまでもその軸は「音楽が好き」という気持ちと、「フルートを学び続けたい」という気持ち。

思いのままに進んでいきたいと思えます。

習志野の好きなところ

スポーツも音楽も習志野はレベルが高いですが、それは習志野市全体が進化することを恐れずに前を向いて頑張っているからだと思えます。サポートする力と、学ぼうとする力の強さ！心強く誇らしく、負けない様に私も頑張ろう！と日々背中を押されています。また名物の習志野ソーセージはじめ、習志野には歴史的にみても見どころが多いですね。

もっとたくさんの方に知っていただけたらと思います。

■プロフィール 林 愛実 (はやし あいみ)

習志野市出身。国立音楽大学付属高等学校を経て、国立音楽大学演奏学科フルート専攻卒業、及び弦管打楽器ソリスト・コース修了。洗足学園音楽大学院管楽器科首席卒業。

ウィーン国立音楽大学のセミナーを受講し推薦を受けDICHLERコンクールに出場3位。ディプロマを取得。卒業時に大学推薦にてフルート協会主催フルートデビューリサイタルに出演。BS-TBS「日本名曲アルバム」に出演。BSフジ「アートな夜！」に出演。ソニー・ミュージックエンタテインメント主催CLASSICAL STARSオーディション優秀賞受賞。ジャンルレスなレパートリーで年間200回を超えるステージを行う他、ファッションショーでのパフォーマンスや卓話講師、ドラマ、アニメ、ゲーム音楽等のレコーディングを務めている。また世界三大ミスコンテストのミスワールドジャパン2019にてファイナリストに選出されTOP6、タレント部門1位、マルチメディア部門2位を受賞。モデルとしての活動や自ら立ち上げた子どものためのボランティア団体「みんなのパーク」などの活動も積極的に行っている。現在、ホテル権会アンバサダー、習志野ソーセージアンバサダーを務める他、クラシック音楽専門のインターネットラジオ「OTTAVA」にて生放送番組のプレゼンターを担当。2020年12月には東京シンフォニエッタと武満徹《系図》で語り手として共演。NHK-FMで全国放送された。その愛らしさを湛えた声色と優艶な語り口にも注目が集まっている。